

七夕まつり、交通実験、そして今 「七夕まつりから豊中駅前交通社会実験へ」

このシリーズは、この豊中駅前を、まちの多くの人々が願う『安全で安心して楽しく歩き回れるまち』にするにはどのようにしていけば良いかをみなさんと共に考えて行きたいと企画しました。ご意見、ご感想をFAX又はメールにてお寄せ下さい。

豊中駅前まちづくり推進協議会 事務局

連絡先 FAX：06 - 6858 - 6190 / メール：at.machi@mail.tmconet.com

前回は、七夕まつりが原点になり交通実験が実施されたと聞きました。今回はその交通実験について、当時豊中市のまちづくり支援課課長であった高橋さんからお話をお伺いしました。

——— いろいろに、どの様なことを実施したのですか？

【高橋】平成12年(2000年)4月27日(木)から4月30日(日)、正午から午後7時までの4日間実施しました。

その内容は様々で合計16の実験でした。大きなものは、銀座商店街のトランジットモール、これはバスのみ通行、乗用車は大池小学校前を通行させるものです。それに、一番街のフルモール、一定の時間帯は車を入れず、歩行者専用空間にして、地元主催のイベントを実施しました。また、従来の路線バスが走らない住宅地などに小型バスを走らせる駅前との循環バスの運行、地元商店によるお買い物客へのバス券プレゼントなどバス利用を促進する実験でした。その他に、ノーマイカーの利用促進、モノレールの利用促進、自転車・徒歩利用の促進、駅前渋滞情報の提供を行いました。

——— どんな目的で実施したのですか？

【高橋】この社会実験は、豊中駅前前の課題であり、まちづくりの目標である『歩き回れるまち、歩いて楽しいまち』を実現するために行なったものです。ひと言で言うと『毎日、七夕まつりが出来るまち』のための実験です。具体的には、①駅前前の賑わいづくり、②バスや電車など公共交通の利用の促進③歩行者の安全と渋滞解消のための道路のやり変えの検討を進める。特に大池

小学校前の道を駅まで繋げる新道づくり、④行政と住民とが互いに主体的にかかわり、まちづくり構想の実現のための協働の取り組みをより一層進めるです。——— 実施した反響はどのようでしたか？

【高橋】この実験は豊中市、建設省・運輸省、大阪府警本部、大阪府、豊中警察署など地元の交通事業者、専門家などの協力でもって実施する事が出来ました。これだけ多くの関係者が関わった事は、全国的にまちづくりの先進事例として知られる『豊中方式』の第1号である豊中駅前まちづくり協議会が、地域で合意したまちづくり構想の実現を進めることに、大きく貢献したと思います。

また、多数のマスコミからも注目され、応援を受けました。

反面、残念なことに地元の一部商店主や市民から社会実験は迷惑である、売り上げが落ちたなどの反対の声が上がりました。そのため、地域での意見交換の場や議論のプロセスを十分に作れなかった。また地域リーダーの意気込みも消沈したのではと思います。また、行政も社会実験の成果を踏まえた解決策の具体化を示さなかった事が、今日のまちの状態を作り出しているのだと思います。せっかく結集してくれた応援団も離れていかざるを得なくなりました。

——— 実験でわかったことは？

【高橋】歩行者中心の空間、イベントができる空間(ハレの場)、バスなどの公共交通の使い勝手をよくすること、駅への新道を作る(南吉野線を延伸)ことが、まちを活性化させ、まちづくりの目標が達成できることがわかりました。皆さんが作ったまちづくり構想を実現していくためには、応援団と一緒に具体的な議論をし、役割分担をして粘り強く地元の合意を図ることが大切だと思います。また、その努力が新たな担い手や応援団を作り出すのだと思います。

豊中駅前、全国的にも先進的なまちづくりのブランド力を持っ

ています。「豊中方式」に関わりたい後援者も数多くいます。材料もたくさんあります。これをもっ

と有効的に使わない手はないと、交通実験に関わった私として思います。

聞く所によると、豊中市ではまちづくり構想の実現化に向けて、基本方

針の見直し作業を始めているとのこと。これを機に『毎日、七夕まつりが出来るまちづくり』への弾みになる事を願っています。これからも楽しい取り組みを続けてください。

写真は歩行者天国の様子

上：刀根山道から新開地ビル方面

下：刀根山道の北方面の出店

ナカザワカメラ蔵



会 員 募 集 中 共に、生き生きとした、誇りが持てる、安心して住み続けられるまちづくりを進めませんか

年会費(一口以上何口でも)
個人会員 一口 300円
商店会員 一口 5,000円

問い合わせ先：
まちづくりセンター(協議会事務局)
TEL / FAX: 06 - 6858 - 6190